

\*\*\*\*\*2007.6.15\*\*\*\*\*

CGL NEWS II Vol.16

Conference on Green Logistics in Japan

<http://www.logistics.or.jp/green/>

\*\*\*\*\*

『CGL NEWS II』は、第2期ロジスティクス環境会議メンバーの方々を対象として、環境会議の活動状況と行政動向に関する情報提供を発信して参ります。

<目次>

- 1 都市内物流効率化セミナー御案内(国土交通省主催)
- 2 2050年までの温室効果ガス半減を真剣に検討～G8ハイリゲンダム・サミット～
- 3 「21世紀環境立国戦略」を閣議決定
- 4 「中小事業者における効率的な物流取引の構築に関する調査研究」の調査結果概要について
- 5 ～環境負荷低減とコスト削減の実践リーダー育成～  
第3期グリーンロジスティクスエキスパート講座開講のご案内
- 6 第2回グリーン物流基礎コース(大阪開催)のご案内

---

●6月25日開催 都市内物流効率化セミナー御案内(国土交通省主催)●

---

都市内物流においては、路上荷捌きが交通渋滞や歩行者の安全な通行の阻害要因となり、荷捌きスペースの不足に対する対応策が必要となります。また、昨年施行された改正道路交通法による駐車取締り強化によってこの課題が更に大きなものとなっております。さらに、運輸分野におけるCO2削減対策という視点からも、都市内物流効率化は必要となっております。

このような中、国土交通省主催により、道路政策及び都市計画の視点からの施策の紹介とともに、各地域における都市内物流効率化の取り組みや、高層ビルにおけるデリバリーサービスの事例紹介を目的とした、都市内物流効率化セミナーが開催されます。

日時：2007年6月25日(月)13:30～15:50(開場:13:00)

会場：虎ノ門パストラル 葵の間(東京都港区虎ノ門4-1-1)

参加料金：無料

参加人数：200名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます

主催：国土交通省

共催：グリーン物流パートナーシップ会議

申込方法等の詳細は下記を御参照下さい。

<http://www.greenpartnership.jp/active/seminar070625.html>

---

★2050年までの温室効果ガス半減を真剣に検討～G8ハイリゲンダム・サミット～★

---

6月6日から8日までドイツ ハイリゲンダムでサミットが開催されました。この中で日本の安倍首相は、「世界全体の温室効果ガス排出量を2050年までに半減する」等を提案。その結果、「世界全体の温室効果ガス排出量を、2050年までに半分

以上削減することを真剣に検討する」ことでG8首脳の合意が得られました。

(ハイリゲンダム・サミット(外務省ホームページより))

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/summit/heiligendamm07/g8\\_s\\_gai.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/summit/heiligendamm07/g8_s_gai.html)

---

◆「21世紀環境立国戦略」を閣議決定◆

---

去る1月26日の安倍内閣総理大臣の施政方針演説において「国内外あげて取り組むべき環境政策の方向を明示し、今後の世界の枠組み作りへ我が国として貢献する上での指針として、『21世紀環境立国戦略』を6月まで策定」するとの方針が打ち出されました。

これを受けて、環境省 中央環境審議会は、「21世紀環境立国戦略特別部会」を2月に設置し、審議を重ねた結果、「21世紀環境立国の策定に向けた提言」のとりまとめを行い、環境大臣に意見具申を行っていたところですが、6月1日に閣議決定されました。

主な概要は以下のとおりです。

○地球環境には、地球温暖化の危機、資源の浪費による危機、生態系の危機など多くの課題があり、地球環境問題は、21世紀に人類が直面する最大の課題です。

○21世紀環境立国戦略(以下「戦略」という。)は、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりの取組を統合的に進めていくことにより地球環境の危機を克服する持続可能な社会を目指すことを提示しています。

○戦略では、持続可能な社会を実現するため、「環境立国・日本」として日本の強みである「自然共生の智慧や伝統」、「世界最先端の環境・エネルギー技術」、「公害克服の経験」「意欲と能力溢れる豊富な人材」を活用することを定めています。

○このため、これら日本の強みを原動力にして、経済成長、経済活性化を環境から拓く「日本モデル」を構築していきます。そして、アジア、世界に発信することにより、世界の発展と繁栄に貢献します。

○戦略では、今後1、2年で重点的に着手すべき8つの戦略を示しています。

○戦略1から3までは、地球温暖化の危機、資源の浪費による危機、生態系の危機のそれぞれに対応した分野別の戦略を提示しています。

○戦略4から8までは、「環境立国・日本」を実現する上で重点を置くべき横断的な戦略を提示しています。

○今後は、関係府省、産業界、国民、NPO等各界各層と連携を図りつつ、21世紀環境立国戦略に定められた施策の具体化を図っていきます。

\* 詳細は下記を御参照下さい。(環境省ホームページ)

[http://www.env.go.jp/guide/info/21c\\_ens/index.html](http://www.env.go.jp/guide/info/21c_ens/index.html)

---

「中小商業者における効率的な物流取引の構築に関する調査研究」の調査結果概要について

---

中小企業庁は、「手厚い物流サービス」\*が中小卸売業者、小売業者に与えるコスト面、売上面の影響等を把握し、中小商業者にとって効率的な物流取引についての調査結果概要を公表しました。

(調査結果概要(中小企業庁ホームページ))

<http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/shogyo/070525kouritubturyu.htm>

「手厚い物流サービス」\*

従来から卸売業者においては、物流コスト低減と物流サービスに対する顧客ニーズを両立させるといふ「二律背反」を解決するための取組が模索されてきましたが、顧客側(小売業者)の要望を断ることができないという意識から、返品可能を前提とした取引や短納期小口配送といった高い水準の物流サービスについて、本調査において「手厚い物流サービス」と呼んでいる。

★

～環境負荷低減とコスト削減の実践リーダー育成～  
第3期グリーンロジスティクスエキスパート講座開講のご案内

★

第3期グリーンロジスティクスエキスパート講座では、企業における環境対応への高まりや改正省エネルギー法に対応するために、ロジスティクス領域の環境負荷の現状を定量的に把握し、低減のための循環型システムを計画立案、推進、評価できるリーダーを育成します。

本講座は、環境負荷低減に関わる知識と技術に加え、課題の発見・分析力、戦略立案能力を身につけられる、より実践に近いプログラムで構成されており、ロジスティクス領域における環境負荷低減とコスト削減活動を推進するリーダーの育成を目的としています。

本講座を受講し、修了基準を満たし、所定の試験に合格された方には、「グリーンロジスティクス管理士」の資格が授与されます。

環境負荷低減のスペシャリストへの第一歩として、ぜひ、本講座をご活用ください。

関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。

【これまでの資格取得企業一覧:54社68名】(社名五十音順)

旭化成ライフ&リビング(株) 味の素物流(株) イオン(株)  
いすゞライネックス(株) (株)井田両国堂 NECロジスティクス(株)  
大塚倉庫(株) 岡本物流(株) オリックス環境(株) 花王(株)  
花王販売(株)川崎陸送(株) キヤノン(株) (株)KCロジスティクス  
コイズミ物流(株) 国分(株) 佐川急便(株) 佐川物流サービス(株)  
山九(株)(有)サンロジスティクスサービス  
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 西濃運輸(株)  
(株)セイノー情報サービス (株)ゼクセルロジテック センコー(株)  
ダイキン工業(株) タカラ物流システム(株) 千代田運輸(株)  
帝商産業(株) (株)テンスカイジャパン 東レ(株)  
東洋インキ製造(株) (株)豊田自動織機 日東ロジコム(株)  
(株)ニチレイロジグループ本社 日本通運(株)  
パナソニックモバイルコミュニケーションズ(株)  
(株)バンダイロジパル (株)ビーポート 日立建機ロジテック(株)  
日野自動車(株) フェデラルエクスプレスジャパン(株) 福岡倉庫(株)  
プラネット物流(株) (株)フレームワークス ホンダロジコム(株)  
増田運輸(株) 松下電器産業(株) 松下電工(株) 三井物産(株)  
三菱化学物流(株) (株)菱食 (株)ロジスティクス・ネットワーク  
(株)ロジスティクス・プランナー

※企業名は資格取得時点の名称となります。

■会期:2007年7月13日(金)～12月14日(金)

延べ12日間

■会場:東京都内会場

■定員:50名(定員になり次第、締め切らせていただきます)

■プログラム・参加申込方法

以下URLをご参照ください。

[http://www.logistics.or.jp/education/seminar/pdf/2007/07h\\_BA0714.pdf](http://www.logistics.or.jp/education/seminar/pdf/2007/07h_BA0714.pdf)

■参加料: JILS会員: 294, 000円/1名(税込)

JILS会員外: 367, 500円/1名(税込)

※有資格者優待: 「物流技術管理士」「国際物流管理士」の有資格者が本講座を受講する場合、受講料の優待料金が適用されます。

---

第2回グリーン物流基礎コース(大阪開催)のご案内

---

JILS関西支部では、物流・ロジスティクス分野における環境負荷低減施策の基礎知識を体系的に学び、基本的な環境負荷低減の計画、立案、実践ができる人材の育成を目的とした「第2回グリーン物流基礎コース」を8月2日より開講することとなりました。

本コースでは、物流・ロジスティクス分野における環境問題全般と、「輸配送」、「包装」、「静脈物流」、「廃棄物削減」の項目に関する環境負荷低減施策の基本的な項目について、学識者、企業実務家等が講師を担当し、環境負荷低減とコスト削減の両立に向けての基礎知識を得ることが可能なカリキュラム編成となっております。

関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。

【日 時】2007年8月2日(木)、8月21日(火)、9月4日(火)

【会 場】大阪リバーサイドホテル(大阪市都島区中野町5-12-30)

【定 員】30名

【受講対象】物流・ロジスティクス分野における環境負荷低減施策に取り組む方で、基本的な知識を必要とされる係長、主任、スタッフの方々や新担当者、環境部門担当者の方々

【参加料金】84,000円/JILS会員、99,750円/JILS会員外

※ロジスティクス経営士、物流技術管理士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士の資格取得者には優待割引があります。  
詳細はパンフレットの申込規定をご覧ください。

◆詳細プログラム、申込方法等: 下記HPをご覧ください。(PDF2.50MB)

[http://www.logistics.or.jp/education/seminar/pdf/2007/07K\\_GLB.pdf](http://www.logistics.or.jp/education/seminar/pdf/2007/07K_GLB.pdf)

★問合せ先: 関西支部 角新

e-mail: kadosin@logistics.or.jp TEL: 06-4797-2070

\*\*\*\*\*CGL NEWS II 配信について\*\*\*\*\*

■本メールは第2期ロジスティクス環境会議

代表登録者・連絡窓口・研究会・委員会にご登録いただいている方に配信しております。(メールの登録のある方のみ)

■発信元: 社団法人日本ロジスティクスシステム協会

■お問い合わせ、配信停止・変更は: [cgl@logistics.or.jp](mailto:cgl@logistics.or.jp)

※各委員会に対する質問、要望等も上記アドレスにお願いいたします。

(C) CGL NEWS All Rights Reserved.

\*\*\*\*\*